



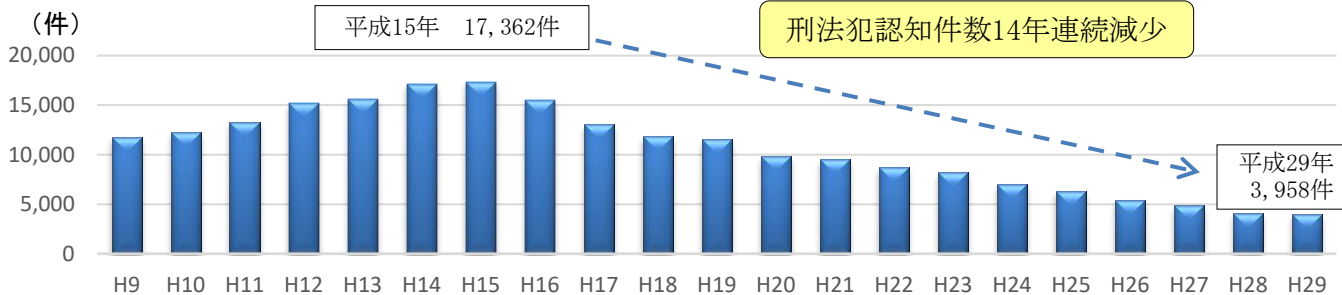
平成29年大分県の犯罪情勢

～刑法犯認知件数14年連続減少～



1 刑法犯認知件数の推移

※「刑法犯」とは、交通事故にかかる罪を除いた「刑法」に規定する罪などをいいます。
※認知件数とは、警察が発生を認知した事件の数をいいます。



- 大分県の刑法犯認知件数は、平成10年頃から増加傾向を示し、ピークの平成15年には1万7,362件に達しました。その後、平成16年から減少に転じ、平成29年は3,958件と、ピーク時の4分の1以下にまで減少しました。

2 平成29年中の手口別の増減

前年より減少した主な犯罪

犯罪手口	H29認知件数	減少数
自転車盗・オートバイ盗	860	-199
車上狙い	159	-75
自動販売機ねらい	42	-35



前年より増加した主な犯罪

犯罪手口	H29認知件数	増加数
万引き	702	+55
空き巣・忍び込みなど	190	+35
事務所・倉庫荒らし	70	+34

- 手口別の分析では、特定の手口(自転車盗・オートバイ盗等)が大きく減少している一方で、万引きや空き巣などの住宅対象侵入窃盗が増加傾向にあります。

増加傾向にある犯罪の対策

① 万引き

万引きで検挙された人の約半数が65歳以上の高齢者でした。
販売店では、「防犯カメラの設置」や「客に対する積極的な声かけ」「商品の配置変更」などの対策をとみましょう。

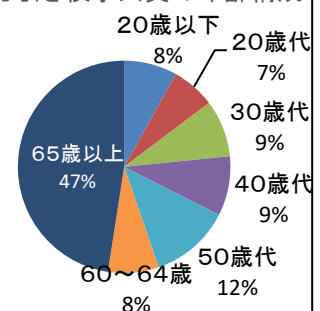
② 空き巣・忍び込みなど

留守中に家に侵入する空き巣や就寝中に家に侵入する忍び込みなどの住宅対象侵入窃盗は、56%(107件)が無施錠でした。
「ちょっとした外出や就寝前には必ず施錠確認」「センサーライトや防犯カメラの設置」「敷地内を整理して、犯人が隠れやすい場所をなくす」などの対策をとみましょう。

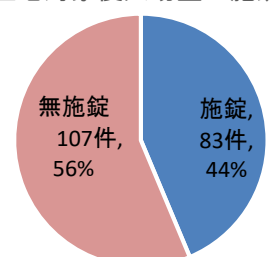
③ 事務所・倉庫荒らし

犯人は事務所に置いている現金や、倉庫にある工具などを狙っています。
「防犯カメラの設置」「丈夫な施錠設備の設置と確実な施錠」「現金を事務所に置かない」などの対策をとみましょう
また、警備会社に機械警備等を依頼する対策も有効です。

H29万引き検挙人員の年齢構成



住宅対象侵入窃盗の施錠状況



「まもめーるアプリ」運用開始！



県警察では、皆さん方の防犯対策等に役立てていただくため、事件や事故、不審者、行方不明者、特殊詐欺などの情報を電子メール(まもめーる)で配信していますが、この度、スマートフォンに対応した「まもめーるアプリ」を開発し、運用を開始しました。

「まもめーるアプリ」は、まもめーる受信以外にも、身近な犯罪の発生場所を地図上に表示する「防犯マップみはるちゃん」の機能が利用できますので、ぜひダウンロードして、ご活用ください。

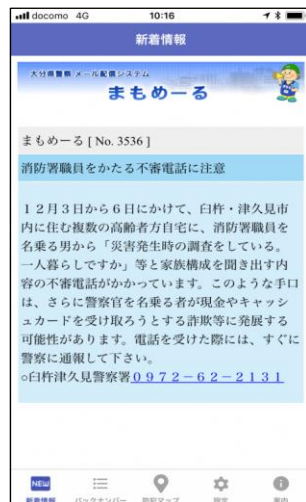


機能1

「まもめーる受信」

・まもめーるの到着情報が配信された際には、プッシュ通知され、新着情報を閲覧できます。

・過去1ヶ月間に配信したまもめーる情報をバックナンバーとして閲覧できます。



機能2

「防犯マップみはるちゃん」

・「車上ねらい」「乗り物盗」「声かけ事案」の犯罪発生場所が地図上に表示されます。

・発生期間、発生地域等を指定して表示させることができます。



★ ダウンロード方法 ★

Android対応のスマートフォンをお持ちの方は「Google Play」、iPhoneをお持ちの方は「App Store」から、「まもめーる」と検索し、アプリをダウンロードしてください。

【Android携帯はこちらか



【iPhoneはこちらから】

